

科目名	日本文化文献講読			ナンバリング	JPN243	授業形態	演習
対象学年	2 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	松本麻子	担当教員	松本麻子、久呉高之				

授業の概要	この授業では、古典から現代までの文献を読むことで様々な「ものの見方」があることを学ぶ。前半(1～10回)は、『今昔物語集』を読み平安時代の「外国」について、ポルトガル人が作成した辞書や『伊曽保物語』を読み室町・江戸時代の「外国」について、小泉八雲の『怪談』を読み明治時代の「外国」について検討し、それぞれの「ものの見方」について参加者全員で考える。後半(11～15回)は、「戦後最大の名著」といわれる笠(りゅう)信太郎『ものの見方について』の講読をとおして、日本と日本人の諸問題を「自ら考える」ことを目的とする。						
到達目標	①『今昔物語集』から見る「外国」について考え、平安時代のものの見方について、自分の考えを述べることができる。 ②『日葡辞書』『伊曽保物語』から見る「外国」について考え、室町・江戸時代のものの見方について、自分の考えを述べることができる。 ③『怪談』から見る「外国」について考え、明治時代のものの見方について、自分の考えを述べることができる。 ④『ものの見方について』の各節・各章の概要を説明することができる。 ⑤『ものの見方について』の各節・各章の内容について自分の考えを述べることができる。 ⑥『ものの見方について』の全体をふまえて自分の考えを述べることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	後半に読む『ものの見方について』で、笠は次のように述べている。「平生の観察はやはりできるだけ多面的で、できるだけ細かいのでなければ、役に立たない」。知識の有無は関係なく、自分で多面的に細かく考えることが学習の第一歩である。深く考えるという楽しさを学んで欲しいと思う。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①『今昔物語集』から見る「外国」について考え、平安時代のものの見方について説明できる。	①『今昔物語集』から見る「外国」について考え、平安時代のものの見方について意見を述べられる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	授業の準備	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
レジュメの内容・充実度	○	○	○	○	○	○	30%
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○	○	30%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○	○	○	40%

課題、評価のフィードバック	作成したレジュメに対して担当者がコメントし評価を行う。また、より良い資料作成ができるようにアドバイスをする。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	授業のやり方や発表の方法について説明する。現代の「ものの見方」について意見交換をする。	
	第2回	平安時代の「外国」について①	『今昔物語集』から見る「外国」について考え、平安時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第3回	平安時代の「外国」について②	『今昔物語集』から見る「外国」について考え、平安時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第4回	平安時代の「外国」について③	『今昔物語集』から見る「外国」について考え、平安時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第5回	室町時代の「外国」について①	『日葡辞書』『伊曾保物語』から見る「外国」について考え、室町・江戸時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第6回	室町時代の「外国」について②	『日葡辞書』『伊曾保物語』から見る「外国」について考え、室町・江戸時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第7回	室町時代の「外国」について③	『日葡辞書』『伊曾保物語』から見る「外国」について考え、室町・江戸時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第8回	明治時代の「外国」について①	『怪談』から見る「外国」について考え、明治時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第9回	明治時代の「外国」について②	『怪談』から見る「外国」について考え、明治時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第10回	明治時代の「外国」について③	『怪談』から見る「外国」について考え、明治時代のものの見方について討論し、検討する。	
	第11回	笠信太郎『ものの見方について』を読む 1	「イギリス」の章を読み、イギリス人の考え方と日本人の考え方との比較を視点として、日本文化の特質を考える。	
	第12回	笠信太郎『ものの見方について』を読む 2	「ドイツ」の章を読み、ドイツ人の考え方と日本人の考え方との比較を視点として、日本文化の特質を考える。	
	第13回	笠信太郎『ものの見方について』を読む 3	「フランス」の章を読み、フランス人の考え方と日本人の考え方との比較を視点として、日本文化の特質を考える。	
	第14回	笠信太郎『ものの見方について』を読む 4	「日本」の章を読み、ヨーロッパ諸国民の考え方と日本人の考え方との比較にもとづき、日本と日本人の諸問題を考える。	
	第15回	笠信太郎『ものの見方について』を読む 5	「日本」の章を読み、ヨーロッパ諸国民の考え方と日本人の考え方との比較にもとづき、日本と日本人の諸問題を考える。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		文献の講読を中心とし必要に応じて受講者に発言を求めるという仕方で進める。		
授業外学習の指示		あらかじめ文献を読み、自分の意見を整理して授業に臨むこと。 （授業外学習時間： 毎週 180 分）		

教科書	1. 第1回～10回は各種プリントを配付する。2. 第11回～15回は、笠信太郎『改訂新版 ものの見方について』（角川ソフィア文庫、2018年）のコピーを配付する。
参考書	1. 『絵入り伊曾保物語を読む』武藤 禎天、東京堂出版、1997年、ISBN: 9784490203295 2. 『怪談・奇談（講談社学術文庫）』講談社、1990年、ISBN: 9784061589308
参考URLなど	インターネットは使用しない。
その他	特になし。